

II 月報301号～400号の総目録と索引

「専修大学社会科学研究所月報」目録

(No.201, 1988年8月～1996年10月)

1988

- No.301 Tokyo Central Meat Wholesale Market Price Quotations for Beef
Carcasses: How Far Do They Indicate and Represent Nationwide
Beef Market Conditions? - Revised 森 宏・Wm.D.Gorman
- No.302 [座談会]「高度産業社会と国家」をめぐる
正村公宏・鶴田俊正・吉家清次・宮下誠一郎・宮本光晴・野口 旭・三輪芳郎・
水川 侑・澤野 徹
- No.303 悪魔が砂糖を持ち込んだ? 〈研究ノート〉 池田博行
- No.304 ウォーラステイン「世界システム論」における現代=危機把握 阿部総一
- No.305 20年後に: 68年5月再訪 ダニエル=シンガー・訳 玉垣良典

1989

- No.306 ペレストロイカと社会主義の展望 〈定例研究会〉 高山 智
- No.307 大都市における居住機能の再編と地域的世界の変容—特に問題整理と課
題導出を中心にして 広田康生
- No.308 英国自動車工業における製品差別型寡占体制の成立 水川 侑
- No.309 シュンペーターと現代経済
—国際 J. A. シュンペーター学会における研究動向 吉岡恆明
- No.310 『ケインズ研究』にたいするこれまでの反応 平井俊頭
- No.311 ソ連のペレストロイカの現状と課題
—アバルキン教授を迎えての「社研・特別研究会」(1989年4月15日)報告—
あいさつ
三輪芳郎・二瓶 敏・大崎平八郎・田中萬雄・アバルキン教授・ボガチェフ所長補佐
ソ連科学アカデミー・経済研究所の組織と機構 ボガチェフ所長補佐
ソ連のペレストロイカの現状と課題 アバルキン教授
アバルキン教授の略歴と業績の紹介
- No.312 凡て、最初が難しい 〈研究ノート〉 池田博行
「日中関係史」研究の現在 〈研究ノート〉 斎藤秋男

- No.313 マルクス経済学のマイクロ・ファウンデーション
 -アナリティカル・マルクス主義の方法論を巡って 石塚良次
- No.314 生産者行動への双対性接近法-A Pedagogical Note- 中島 巖
- No.315 アパルトヘイトと日本 松本仁一
 『アパルトヘイトと白人たち』〈書評〉 森川幸一
- No.316 造船業の多角化戦略と戦略グループの形成過程-戦後造船企業経営史(1) 溝田誠吾
- No.317 わが国自動車企業のアメリカにおける現地生産(上) 鈴木直次
- 1990
- No.318 韓国の村と昔語り 樋口 淳・南 富鎮・金 美栄
- No.319 ソ連・東欧の政治・経済改革〈研究会報告〉 佐藤経明
- No.320 関連・非関連製品多角化と事業部制組織の導入-戦後造船経営史(3) 溝田誠吾
- No.321 わが国自動車企業のアメリカにおける現地生産(下) 鈴木直次
- No.322 初期マルクスの「社会的諸個人」把握-『経哲草稿』のマルクスは「人間」実念論者だったか 内田 弘
 平井俊顕のリジョインダーに反論する 池尾愛子
- No.323 六・四天安門事件と中国民主化の展望 凌 星光
 下心あればこそ、疑心暗鬼
 -フィンランドの交通政策と帝政ロシア-〈研究ノート〉 池田博行
- No.324 情報構造とマクロ合理的期待モデル 山田節夫
- No.325 英国自動車工業における製品差別型寡占体制の成立(2) 水川 侑
- No.326 タイ・スタディー・ツアー-開発と人権- 石村 修・木幡文徳・古川 純
- No.327 '30年代・中国左連東京支部の活動
 -林煥平教授来日の記録〈学术交流ノート〉 斎藤秋男
 閔妃殺害事件に関するコッカルの通信 大谷 正
- No.328 1980年代における現代日本企業の国際化に関する一考察〈論文〉 赤羽新太郎
- No.329 技術革新と市場構造-理論的な問題点 吉岡恆明
- 1991
- No.330 イラク・クウェート問題の背景 福島新吾
- No.331 関連多角化戦略と事業部制の導入-戦後造船経営史(2) 溝田誠吾
- No.332 「国際化」とは何だろう-個人的体験に基づいて 森 宏
- No.333 専修大学社会科学研究所創立40周年記念研究集会
 I. 記念研究会「内田義彦が遺したもの」

開会挨拶	泉 武夫
司会挨拶	常行敏夫
研究報告	
1. 内田義彦の学問世界－『日本から日本へ』の経済学史研究	吉澤芳樹
2. 内田義彦と日本の経済思想像	長 幸夫
3. 社会主義と市民社会－内田義彦氏の所説に触れて	小沼堅司
司会付記	常行敏夫
II. 社研40周年記念研究会記念パーティ	
挨拶	所長 三輪芳郎・学長 望月清司 ほか
No.334 呉店村を事例とした中国農村変革の歴史－抗日戦争期から現在まで	魏 宏運・笠原十九司
中南米の人権侵害と「死の軍団」	波津博明
No.335 エンジニアリング産業の産業組織と企業内部組織 中国短期大学	沖田健吉
No.336 「生活教育社」の成立・活動停止・「回復」をめぐる－『中国革命と「生活教育」運動』続稿（その2）〈研究ノート〉	斎藤秋男
No.337 我流ペレストロイカ考	石渡貞雄
No.338 高校社会科の「再編」と世界史必修をめぐる	矢吹芳洋
No.339 現代日本企業の本格的国際化とマイクロ・エレクトロニクス革命に関する1考察〈論文〉	赤羽新太郎
No.340 悔い多き人生	池田博行
No.341 三輪芳郎先生に聞く－昭和史の一断面（上）	
No.342 〈陶行知・現地研究〉の旅・その節目に －'91年10月・陶誕辰100周年記念活動の参加報告	斎藤秋男
1992	
No.343 クーバ共和国の鉄道建設史－地域の不均等発展が鉄道建設を不具化する 〈文献紹介〉	池田博行
No.344 「PKO協力法案」をめぐる ポスト冷戦とPKO	森川幸一
「PKO協力法案」を憲法学からみる	石村 修
合同研究会の討論のなかから	古川 純
No.345 三輪芳郎先生に聞く－昭和史の一断面（下）	
No.346 SNA改訂草案を読む	作間逸雄

- No.347 中華人民共和国未成年者保護法について 金光旭訳, 宮坂 宏訳・解説
- No.348 プロセス集積体系という思想 吉田雅明
- No.349 〈合評会報告〉三輪芳郎編『現代日本の産業構造』をめぐって 玉垣良典・栗木安延
- No.350 外国人労働者問題シンポジウム
 就労実態調査報告から 上林千恵子
 経済学の立場から 岡 伸一
 外国人労働者受け入れ国日本の矛盾と今後－現状維持の問題点－ 宮島 喬
- No.351 クーバ国の鉄道建設史(4)－新植民地体制下の鉄道－〈文献紹介〉 池田博行
- No.352 中華人民共和国女性権益保障法について〈訳・解説〉 宮坂 宏
- No.353 ニュー・ジランドで感じたこと 森 宏
- No.354 標準商品論と転形問題の位相－スラッファとマルクスの交錯－ 石塚良次
- 1993
- No.355 L.フォイエルバッハの遺稿「日本の宗教」 澤野 徹
- No.356 KommunistenはParteiを超えている－『共産党宣言』と政党の廃絶－ 石塚正英
- No.357 計量経済ソフトウェアの比較
 原田博夫・齋藤雄志・大林 守・山田節夫・大倉正典
- No.358 ある調査の記録：「フィールド日誌」に見る鶴見の日系人世界
 －都市エスニック・コミュニティの形成と自己確証の行方－ 広田康生・藤原法子
- No.359 都市エスニック・コミュニティ研究の視点と方法
 －米国での事例研究を手がかりにして－ 広田康生
- No.360 野心に燃え、燼きたS. Philippartの生涯－ベルギーの鉄道王－ 池田博行
- No.361 I am sorry……言う文化・言わない文化 森 宏
- No.362 韓国企業調査団報告
 『韓国企業調査』を終えて 麻島昭一
 韓国企業調査旅行の印象記 玉垣良典
 韓国雑感 二瓶 敏
 韓国訪問印象記 加藤佑治
 開発独裁の今後は？ 三輪芳郎
 韓国視察の印象と感想－檀国大学を尋ねて－ 内田 弘
 浦項製鉄所研究のための問題点 儀我壮一郎
 三星電子見聞録 大西勝明
 三星電子訪問記 柴田弘捷

- 蔚山工場見学雑感 水川 侑
 現代自動車訪問記 鈴木直次
 1993年3月の韓国雑感 儀我壮一郎
 はじめて韓国農村を旅行して 加藤幸三郎
 知らなかった隣国 米地 實
 最初に訪れた外国－韓国－ 宇都榮子
 Good experience ! 広瀬裕子
 ニューヨークで見たハンゲル文字 池本正純
- No.363 セクシュアル・ハラスメントは性差別か？ 広瀬裕子
 No.364 日本におけるL.フォイエルバッハ研究 澤野 徹
 No.365 金儲けに国境は無い－Schroeder家の歴史. その1〈研究ノート〉 池田博行
 No.366 詩人・徐志摩自筆『学堂日記』(1911・辛亥)返還まで－〈略奪した文化〉“共犯”始末 斎藤秋男
- 1994
- No.367 THE BEEF MARKET IN JAPAN (MERCADO DELA CARNE EN JAPON), paper presented at SEMINARIO. INTERNATIONAL MODERNIZACION DEL SECTOR CARNE BOVINA: PRODUCCION, INDUSTRIA, MERCADO; CONCEPCION • CHILE, 16, 17, 18 NOVIEMBRE, 1993 Hiroshi Mori
- No.368 世界的な資本主義発展の寵児－Schroeder家の歴史 その2 池田博行
 No.369 英国雑感 作間逸雄
 No.370 アメリカ自動車産業の復活(1)〈研究ノート〉 鈴木直次
 No.371 公開シンポジウム「戦後補償問題の解決をめざして」
 はしがき 古川 純
 韓国・朝鮮人B C級戦犯者の訴え－戦後責任訴訟・憲法の視点－ 今村嗣夫
 金順吉裁判の概要 龍田紘一郎
 「慰安婦」問題と国際法 阿部浩己
- No.372 公開シンポジウム「戦後補償問題の解決をめざして」
 ドイツの戦後補償との比較 佐藤健生
 日本の戦後補償を考える－問題解決への視点－ 田中 宏
 シンポジウム・討論のまとめ 古川 純
 「戦後補償裁判」が問うもの－シンポジウムを終えて－ 新美 隆

- No.373 米国およびオセアニア在留邦人家庭の肉類消費実態
森 宏・栗原幸一・R.A.Jussaume, Jr.・Doren Chadee
- No.374 沈滞から復興へ、シュレーデルスの歴史、その3〈研究ノート〉 池田博行
- No.375 ソ連社会主義の崩壊をめぐる 二瓶 敏
- No.376 「校則」見直しと生徒の参加権—子どもの権利条約の批准に関連して— 矢吹芳洋
- No.377 シュレーデル家の歴史、その4.〈研究ノート〉 池田博行
- No.378 94年ドイツ連邦議会選挙と政策の争点 石村 修
- 1995
- No.379 ナチズムへの抵抗運動と戦後ドイツ—遺産の継承の仕方 村上俊介
- No.380 サッチャー政治を振り返る 高橋直樹
- No.381 進歩史観批判序言 青木信治
- No.382 中華人民共和国母性育児保健法について〈訳・解説〉 宮坂 宏
- No.383 韓国と私—加害者意識の欠落— 森 宏
- No.384 「中華人民共和国都市家屋土地不動産管理法」について〈訳・解説〉 宮坂 宏
- No.385 米国大学事情—米国アラバマ州オーバン大学における教育・研究活動— 小藤康夫
- No.386 中国企業視察特集
- 「中国企業視察」を終えて 麻島昭一
- 視察の日程と概要 高橋祐吉
- 工場訪問記および中国自動車産業の現状 水川 侑
- 首鋼総公司を訪ねて—「承包制」をめぐる政治的・経済的問題点— 儀我壮一郎
- 一斑を見てあえて全豹を推す—北京大華シャツ工場見学を視点にして— 内田 弘
- 包蔵する可能性と困難さ—北京大華襯衫廠見学記— 北川隆吉
- 上海・浦東新区見学記 黒田彰三
- 上海の都市構造の変化—浦東開発地区を訪ねて— 福島義和
- 天津市第二棉紡織廠を見学して 加藤幸三郎
- 中国における雇用失業問題—中国労働科学院を訪ねて— 加藤佑治
- 「全人代」を乗せたバス 池本正純
- 中国企業視察印象記—繊維工場を中心として— 泉 武夫
- 訪中印象記—「発展」と「落差」と— 井上 裕
- 1995年3月の中国断想 儀我壮一郎
- 「改革・開放」政策の中国を見て 古川 純
- 十六年ぶりの中国 皆川勇一

- 戦争「加害者」と「被害者」 三輪芳郎
- No.387 平井俊顕・野口旭編『経済学における正統と異端』をめぐって〈研究会報告〉
- 経済学の「進歩」とは何かー方法論的考察 野口 旭
- 「貨幣的経済学の興隆期ー『ヴィクセル・コネクション』と『ケインズ革命』」をめぐって 平井俊顕
- 異端派からみた『経済学における正統と異端』 塩沢由典
- ネオ・リカードィアンと地代論, 国際貿易論 高増 明
- 「ヴィクセル・コネクション」という問いの持つ理論史的な意義について 吉田雅明
- 経済学における「SRPの対立」および「SRPの前進性」の意味 野口 旭
- 学史研究における「知的緊張感」の意義 平井俊顕
- No.388 アメリカ自動車産業の復活(2・完)〈研究ノート〉 鈴木直次
- No.389 改革・開放政策下の学校教育ー中国における初等・中等教育の普及過程ー 蔭山雅博
- No.390 シンポジウムー経済社会を考える新しい理論システム〈研究会報告〉
- 慣行の束としての経済システム 塩沢由典
- 分析的マルクス主義についてーマルクス経済学の可能性の中心ー 高増 明
- ケインズから並列処理系へーケインズその可能性の中心ー 吉田雅明
- 合意形成とガバナンス 池田信夫・高木和夫
- オートマトンゲームと複雑さ 川越敏司
- 1996
- No.391 社会科学研究所公開シンポジウム 「戦後50年の現在」
- 開会の挨拶 泉 武夫
- 冷戦体制の解体と日本資本主義の危機 二瓶 敏
- 戦後50年の政治の総括と展望 中馬清福
- アジアからみた日本ー第3ステージの門出ー 涂 照彦
- 東アジアにおける円の役割 大倉正典
- No.392 陶行知研究・上海集会参加の旅から帰ってー1995年秋・呉淞地区のあけくれ 齋藤秋男
- No.393 日本原燃六ヶ所事業本部・青森県地場産業調査報告 泉 武夫
- 六ヶ所村における原子燃料処理について 青木弘明
- ウチとソトの論理ー六ヶ所村から脱原子力社会をめざしてー 古川 純
- 原発・核燃料サイクル施設の安全性と原子力法制 白藤博行
- 青森調査参加の記ー養護施設「弘前愛成園」訪問記 宇都榮子

- No.394 松方デフレ期—企業勃興期における営業者の動向
 —埼玉県榛沢郡内ヶ島村連合を事例として— 高梨健司
- No.395 地価のヘドニック分析
 —土地の QAPI (Quality Adjusted Price Index) について— 山田節夫
- No.396 『経済学における正統と異端』〈書評論文〉 塩沢由典
- No.397 《国際経済学》批判—『世界経済論—《世界システム》アプローチ』
 (ミネルヴァ書房, 1995年)によせて— 森田桐郎
 紹介・追記 室井義雄
- No.398 アメリカ合衆国における国家安全保障情報の秘密指定手続
 —レーガン, クリントン両政権の秘密指定手続の比較を中心として— 岡本篤尚
- No.399 果実消費の停滞と年齢要因—『果実フォーラム』の記録— 森 宏・稲葉敏夫
- No.400 戦前期昭和電工の財務 麻島昭一

No.23 (1989年3月)

特集 明治国家史の研究

- | | |
|--------------------------------|------|
| グループ研究「明治国家史の研究」のねらいと経過 | 福島新吾 |
| 「明治国家分析」の展開 | 福島新吾 |
| 日露戦争後の権力の思想 | 栄沢幸二 |
| 明治憲法における国務大臣の補弼と副署 | 石村 修 |
| ワールド新聞と日清戦争報道「旅順虐殺事件の一考察」補遺(2) | 大谷 正 |

[判決例紹介]

- | | |
|--------------------------------|------|
| 誣訪製糸業における違約金等請求訴訟 | |
| －明治45年(大正元)年の上誣訪区裁判所の判決例を中心として | 近藤享一 |

論文 国際化時代の財政

- | | |
|------------------------|------|
| 新SNAにおける「移転」概念の解釈とその擁護 | 青木信治 |
| 指定賃金型暗黙労働契約 | 作間逸雄 |
| | 中島 巖 |

研究ノート

- | | |
|--------------------------|------|
| フランスにおける社会関連会計システムの設計 | 黒川保美 |
| 道央複合都市圏構想を考える－生活圈レヴェルの視点 | 福島義和 |

書評 平井俊顕著『ケインズ研究「貨幣論」から「一般論」へ』

- | | |
|--------------------|------|
| 大西勝明著『高度情報化社会の企業論』 | 藤井賢治 |
| | 風間信隆 |

No.24 (1990年3月)

小特集 戦間期の思想

- | | |
|---------------------|------|
| 西田天香の思想 | 栄沢幸二 |
| 石原莞爾の思想－満州事変の一断面 | 福本 修 |
| 三木清の自由主義思想と創造的社会論 | |
| －ファシズムとスターリニズムに抵抗して | 内田 弘 |

論文 企業社会の変貌と労働政策の構図

- | | |
|---------------------|-------|
| －「弾力化」にむかう企業社会と企業国家 | 高橋祐吉 |
| ゴルバチョフの経済改革と国有企業法 | 宮下誠一郎 |
| 準固定的労働と調整費用 | 中島 巖 |

研究ノート

- | | |
|-------------------------|------|
| 単位労働組合の地域組織－相模鉄道労働組合の場合 | 栗木安延 |
|-------------------------|------|

書評 国家と市場を超える主体とは

—栗木安延『近代社会運動史序説』に触発されての感想

いいだもも

高橋祐吉著『企業社会と労働組合』

小越洋之助

石村修著『憲法の保障—その系譜と比較法的検討—』

畑尻 剛

No.25 (1991年3月)

論文 現代公共性の諸問題—その一・土地(付・住宅問題)の公共性

小林直樹

現代日本の財政構造

青木信治

牛肉輸入自由化をめぐる内外の論議

森 宏

三木清における「基礎経験」概念の成立

内田 弘

手稿「バスティアとケアリ」と『経済学批判要綱』の分析視角

—自由貿易か保護主義か

西村 弘

書評論文

「文化革命としてのピューリタン革命」史序説

—常行敏夫『市民革命前夜のイギリス社会』の問題意識

椎名重明

研究ノート

中世の橋をめぐる習俗について—細川涼一氏の批判に答えて

太田順三

東京大都市圏の多核化の可能性—郊外概念の検討を通じて

福島義和

国際貿易と経済成長—H. David Evans, *Comparative Advantage and Growth: Trade and Development in Theory and Practice*, Havester
Wheratsheaf 1989の検討

野口 旭

書評 小藤康夫著『マクロ経済と財政金融政策』

油井祐治

栄沢幸二著『大正デモクラシー期の教員思想』

片野真佐子

No.26 (1992年3月)

論文 スパルタクス戦争期におけるトラキア問題の位置

土井正興

国際通貨の政治経済学—「世界貨幣」金の位置づけをめぐる

玉垣良典

「空間」の経済学的可能性—経済体制選択論の新地平のために

吉家清次

VALUES OF BEEF CARCASS CHARACTERISTICS IN JAPAN

Biing-Hwan Lin and Hiroshi Mori

労働時間短縮の問題像

内田 弘

不確実性に対する行動としての流動性選好とIS-LM分析

中島 巖

エリザベス I 世期に於けるピューリタン攻勢の神話と司教区の教育水準—

イーラー及びリンカーン司教区の場合

堀江洋文

研究動向

ソフトウェア労働に関する若干の問題

—戸塚秀夫他『日本のソフトウェア産業』によせて

加藤佑治

書評 鈴木直次著『アメリカ社会のなかの日系企業』

浅見和彦

No.27 (1993年3月)

論文 昭和期の教員の思想

榮沢幸二

義和団戦争期の日本外務省による対外宣伝活動

—シーボルトを使用した「外国新聞操縦」を中心に—

大谷 正

折口信夫の「まれびと」論と「近代批判」

矢吹克己

1930年代世界綿布市場における日英綿業の確執

泉 武夫

Kant経済と公共選択

中島 巖

誰が「ケインズ」を殺したか—理論形成史的再評価のために—

吉田雅明

都市エスニック・コミュニティの形成と「適応」の位相について

—特に横浜市鶴見の日系人コミュニティを対象として—

広田康生

海外動向

ロシアにおける民営化の現状・1992年

宮下誠一郎

史料紹介

上毛孤児院記録『明治44年・45年上毛孤児院日誌』

宇都榮子

書評 麻島昭一著『本邦生保資金運用史』

武田晴人

室井義雄著『連合アフリカ会社の歴史1879—1979年—ナイジェリア社会

経済史序説—

中村弘光

No.28 (1994年3月)

小特集 バブル経済の崩壊と再編成

小特集「バブル経済の崩壊と再編成」に寄せて

吉田震太郎

バブル期における金融機関経営の変容

井上 裕

民間金融と公的資金

吉田震太郎

いわゆるバブルの崩壊と銀行労働の『合理化』

加藤佑治

日本における対外不均衡の構造—80年代以降バブル崩壊まで—

野口 旭

論文 経済体制の転換と財政構造の変化

—モンゴル人民共和国での場合を中心に—

青木信治

ヨーロッパの失業問題

加藤浩平

セクシュアル・ハラスメント裁判の持つ社会的意味に関する一考察

- “戦略性” とジレンマ — 広瀬裕子
 エルトン史学と歴史研究—テューダー行政革命論争を中心として— 堀江洋文
 書評 内田弘『自由時間』を読む 新田俊三
 資源配分の適正化を求める—松田修著『財政新時代の日本経済』— 高村寿一

No.29 (1995年3月)

- 論文 戦前期信託会社の不動産信託
 —住友, 秋田, 近江信託の事例による実証的研究— 麻島昭一
 不完全情報下における知的所有物の最適免許・採用決定 中島 巖
 「高橋財政下の地方財政」再考 吉田震太郎
 欧州統合と独仏の経済関係—ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の成立— 加藤浩平
 「都市雑業層」の現代的展開と「労働市場としての都市」
 —エスニック・ネットワークの意味を巡って— 広田康生
- 研究ノート
 居住地の選択と公共施設への近接性に関する一考察 黒田彰三
 第三世界の地域研究の現在—地理学のもう一つの道— 福島義和
 Is Fujian Following the East Asian Development Pattern? Hideo Ohashi
- 書評 日米半導体産業の構図
 —大西勝明著『日本半導体産業論—日米再逆転の構図—』を読んで— 林 倬史
 Hiroshi Mori and Biing-Hwan Lin, *Japanese Beef Market: Distinctly Unique* 伊藤順一

No.30 (1996年3月)

- 論文 国民経済計算における1993年SNAの意義 作間逸雄
 経済システムにおける「自律 (autonomy) と他律 (heteronomy)」
 —東アジアの経済成長と現代経済学へのインパクト— 吉家清次
 明治期における土地抵当貸付と地主制の展開—秋田県を事例として— 加藤幸三郎
 林業経済とストックホルム学派 中島 巖
- 研究ノート
 戦後日本における「企業社会」の形成に関する覚書 高橋祐吉
- 史料紹介
 戦時下における学徒勤労動員の想い出
 —戦時労働力動員をめぐる一史料— 加藤佑治
- 書評 笠原伸一郎著『グローバル企業の史的展開』 藤井 健

『専修大学社会科学研究所月報』および『社会科学年報』の執筆者索引（50音順）

月報・年報の号数のみ記す。年報号数は〔 〕で示す。

あ	青木信治	381, [23],[25],[28],393	太田順三	[25]
	赤羽新太郎	328,339	大谷正	327,[23],[27]
	麻島昭一	362,386,400,[29]	大西勝明	362
	浅見和彦	[26]	大橋英夫	[29]
	アバルキン	311	大林守	357
	油井祐治	[25]	岡伸一	350
	阿部総一郎	304	岡本篤尚	398
	阿部浩己	371	沖田健吉	335
い	いいだもも	[24]	小沼健司	333
	池尾愛子	322	か 魏宏運	334
	池田信夫	390	蔭山雅博	389
	池田博行	303,312,323,340,343,351, 360,365,368,374,377	笠原十九司	334
	池本正純	362,386	風間信隆	[23]
	石塚正英	356	片野真佐子	[25]
	石塚良次	313,354	加藤幸三郎	362,386,[30]
	石村修	326,344,378,[23]	加藤浩平	[28],[29]
	石渡貞雄	337	加藤佑治	[30],362,386,[26],[28]
	泉武夫	333,386,391,393,[27]	上林千恵子	350
	伊藤順一	[29]	川越敏司	390
	稲葉敏夫	399	き 北川隆吉	386
	井上裕	386,[28]	吉家清次	302,[26],[30]
	伊吹克己	[27]	金光旭	347
	今村嗣夫	371	金美栄	318
			儀我壮一郎	362,386,386
う	内田弘	322,362,386,[25],[26]	く 栗木安延	349,[24]
	宇都栄子	362,393,[27]	栗原幸一	373
え	栄沢幸二	[23],[24]	黒川保美	[23]
お	大倉正典	357,391	黒田彰三	386,[29]
	大崎平八郎	311	こ 小越洋之助	[24]

木幡文徳	326	ち 長幸男	333
小林直樹	[25]	つ 常行敏夫	333
小藤康夫	385	鶴田俊正	302
近藤享一	[23]	と 涂照彦	391
ゴーマン, Wm. D.	301	土井正興	[26]
さ 斉藤秋男	312,327,336,342,366,392	な 中島巖	314,[23],[24],[26],[27],
斉藤雄志	357		[29],[30]
作間逸雄	346,369,[23],[30]	中島清福	391
佐藤健生	372	中村弘光	[27]
佐藤経明	319	波津博明	334
澤野徹	302,355,364,391	南富鎮	318
し 椎名重明	[25]	に 新美隆	372
塩沢由典	387,390,396	西村弘	[25]
柴田弘捷	362	新田俊三	[28]
渋澤幸二	[27]	二瓶敏	311,362,375,391
シャディー, D.	373	の 野口旭	302,387,[25],[28]
白藤博行	393	は 畑尻剛	[24]
シンガー、ダニエ	305	林倬史	[29]
ジュソウム, J r.	373	原田博夫	357
す 鈴木直次	317,321,362,370,388	ひ 樋口淳	318
た 高木和夫	390	平井俊顕	310,387
高梨健司	394	廣瀬裕子	362,363,[28]
高橋直樹	380	広田康生	307,358,359,[27],[29]
高橋祐吉	386,[24],[30]	ビン・ワンリン	[26]
高増明	387,390	ふ 福島新吾	330,[23]
高村寿一	[28]	福島義和	386,[23],[25],[29]
高山智	306	福本修	[24]
武田晴人	[27]	藤井賢治	[23]
龍田紘一郎	371	藤井健	[30]
田中宏	372	藤原法子	358
田中萬雄	311	古川純	326,344,371,372,386,393
玉垣良典	305,349,362,[26]	ほ 堀江洋文	[26],[28]

ほ	ボガチョフ	311	も	望月清司	333
ま	正村公宏	302		森川幸一	315,344
	松本仁一	315		森田桐郎	397
み	水川侑	302,308,325,362,386		森 宏	301,332,353,361,367,373, 383,399,[25],[26]
	溝田誠吾	316,320,331	や	矢吹芳洋	338,376
	皆川勇一	386		山田節夫	324,357,395
	宮坂宏	347,352,382,384	よ	吉岡恒明	309,329
	宮下誠一郎	302,[24],[27]		吉澤芳樹	333
	宮島喬	350		吉田震太郎	[28],[29]
	宮本光晴	302		吉田雅明	348,387,390,[27]
	三輪芳郎	302,311,333,341,345,362, 386		米地實	362
む	村上俊介	379	り	凌星光	323
	室井義雄	397			

〈編集後記〉

『月報 400 号発刊記念号』をお送りいたします。麻島所員がお書きになっているように、本来は前号が 400 号の記念号となるはずでした。ラウンドナンバーの記念号を出すという習わしを編集子が失念しており、一号遅れの記念号という失態となりました。不手際をお詫びいたしますとともに、締め切りまでの期間が短かったにもかかわらず、原稿をお寄せいただいた所員の方々に感謝いたします。

(R. I.)

神奈川県川崎市多摩区東三田 2 丁目 1 番 1 号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

(発行者) 水川 侑

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前 2-10-2 電話 (03)3404-2561
